

社会系/基礎科目

科目名		サブタイトル		担当教員	配置学年	単位数
経済学 A		経済学の考え方を身につける		高橋 真悟	1 年次前期	2
科目区分	基礎	キーワード	家計（消費者）の行動・企業（生産者）の行動・価格の決まり方			
ディプロマポリシーとの対応		1. 時代や社会の要請に対応できる能力				
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける				
事前を受講するとよい科目		特になし				
講義の目的	経済学の考え方を身につける経済学 A では、経済を構成する家計（消費者）や企業（生産者）といった経済主体の行動、または市場における価格メカニズムなどを扱う「ミクロ経済学」という経済理論の考え方を学んでいきます。					
到達目標	この講義を通じて、日常生活に溢れる経済学的要素を身につけ、賢い消費者として行動できるようになることを到達目標とします。そして企業がどのようなことを考えながら企業活動を行っているかを理解できるようにします。					
講義内容	経済というとおカネのイメージが強いと思いますが、経済活動はモノやサービスをつかって売り、それらを消費する一連の活動を指します。この中でおカネは、モノやサービスをつくる「費用」や「価格」において大事な役割をもち、労働者にとっては給料やボーナスという形で「やる気」とも直結しています。経済学 A では、これらの内容を身近な例を踏まえて紹介し、楽しみながら経済学を学んでいきます。					
講義スケジュール		タイトル	内容			
	第1講	オリエンテーション	授業概要・運営方法の説明・サンクコストとは（一部）			
	第2講	費用の考え方（1）	サンクコストとは			
	第3講	費用の考え方（2）	機会費用とは			
	第4講	費用の考え方（3）	比較優位とは			
	第5講	経済活動とやる気（1）	インセンティブとは			
	第6講	経済活動とやる気（2）	モラルハザードとは			
	第7講	経済活動とやる気（3）	逆選択とは			
	第8講	市場における価格（1）	価格差別とは			
	第9講	市場における価格（2）	裁定とは			
	第10講	市場における価格（3）	囚人のジレンマとは			
	第11講	経済活動と将来（1）	共有地の悲劇とは			
	第12講	経済活動と将来（2）	割引現在価値とは			
	第13講	経済活動と将来（3）	ネットワーク外部性とは			
	第14講	総復習（1）	キーワードの復習			
第15講	総復習（2）	その他の復習				
指導方法	講義はプリントを中心に行います。また、毎回授業内課題として映像資料を踏まえた問題（選択式と論述式の両方）に取り組んでもらいます。					
事前学習	次回扱うキーワードがどのようなものかをインターネットや書籍で調べ、具体的な例を考えてみてください（1時間程度）。					
事後学習	授業プリントを一通り読み直した後、キーワードの定義を言えるようにしてください。これとは別に、前の回でやった課題（選択式と論述式）を間違えたところを中心に解き直してください（1時間半程度）。					
成績評価方法	本試験（筆記試験）50%、平常点（授業内課題）50%					
テキスト	特になし。毎回プリントを配布します。					
参考書籍	吉本佳生監修『「出社が楽しい経済学」DVDブック（第1～4巻）』日経BP社、2009年。					
特記事項	真面目に受講したい学生の迷惑になるので、私語をしないこと。					